第4章 松浦市の産業振興に向けた施策の方向性

松浦市の将来像

挑戦する人と共にイノベーションを起こし、多彩な産業が生まれ育つまち

この将来像を目指して、以下の3つの基本方針それぞれの「取組の方向性」と主な数値目標、及びそれぞれの「施策の方向性」を示します。

※本文中、下線部分は本改訂版において特に新たに追加訂正した箇所です

基本方針1. まつうらの未来を支える産業の成長促進

取組の方向性

人口減少や経済のグローバル化、産業構造の転換等によって激変する産業環境に対応するため、技術革新や新たな商品・サービスの提供等に果敢にチャレンジする事業者を支援します。

また、中心市街地の活性化、西九州自動車道の全線開通した後の本市のグランドデザインを見据えつつ、都市計画を進めていく必要があります、そのために、コンパクトなまちづくりと公共交通によるネットワークの連携、新たなエネルギー政策を踏まえ、中小企業が活躍できる諸施策の展開を図ります。

◎数値目標：補助事業等により成長支援する事業者数 10社/年

◎数値目標：市内事業所での新規雇用者数 120人/3年

施策の方向性

(1) 産業支援体制の強化及び支援制度の周知・充実

関係機関とのネットワークを強化し、より強固な支援体制の構築と支援制度の整備を行い、広く周知を図り支援制度の積極的な活用を促します。

(2) 事業継続の支援

事業継続力強化支援計画（松浦商工会議所、松浦市福鷹商工会、松浦市：連名申請、認定日：令和3年2月19日）に基づき、連携した支援体制を確立することにより、小規模事業者の事業継続力強化を支援します。

(3) 先進技術導入への支援（新規）

デジタル化、DXに取り組む事業者を支援し、省力化や生産性の向上に繋げ、所得の向上を図ります。

(4) 新エネルギー政策の推進（新規）

新エネルギー政策関連で策定した松浦市再生可能エネルギー導入促進計画等に基づき、太陽光発電施設等の再生可能エネルギー導入に関しての支援を行います。

基本方針2. まつうらを元気づける新たな産業の創出

取組の方向性

地域経済の持続的な成長と発展を実現するため、地場企業の支援による新分野への進出、新製品・技術の開発促進や創業支援による新たな事業者の発掘、災害が少ない地域性等を生かした企業誘致を進めます。

[※]

◎数値目標：連携創業支援事業者からの支援を受けた創業者数 8人/年

◎数値目標：企業誘致数 1社以上/3年

※連携創業支援事業者：松浦商工会議所、松浦市福鷹商工会、十八親和銀行、伊万里信用金庫、日本政策金融公庫、長崎県産業振興財団

施策の方向性

(1) 創業支援の強化

起業・創業を目指す事業者を育成・支援するため、商工団体等の創業支援機関と連携し、チャレンジをサポートする環境整備を強化します。

(2) 企業誘致の推進

市内における新たな雇用の場の確保と、新たな産業を創出するため、既存工業団地への企業誘致の推進と、現在計画を進めている西部工業団地の早期完成を目指します。

(3) 産学官及び事業者間の連携体制の強化

松浦市工業会の事業支援、更には新商品・サービスの開発、販路開拓、技術革新等の新たな産業を創出するため、事業者と県内に存在する大学・研究機関等の多様な連携を強化します。

基本方針3. まつうらの未来を担う人材の確保と育成

取組の方向性

少子高齢化に伴う生産年齢人口（働き手）の減少が続く中、中小企業・小規模事業者においては重要な経営資源である人材の確保と育成が大きな課題となっていることから、関係機関のネットワークを強化して、人材の育成・確保、インターンシップの推進等に取り組みます。

◎数値目標：市内事業所の従業員数 9,300人/令和9年度末

◎数値目標：商工団体の会員数 680者/令和9年度末

施策の方向性

(1) 就職マッチング及び外国人技能実習生の支援

市内事業所の成長促進、経営力強化を図るため、市内事業所への就職を促進します。また、市内事業所への外国人技能実習生の受入を支援します。

(2) 後継者の経営力アップ及び事業承継の支援

本市の商工業者を現場で支援する商工団体の組織力を強化するため、創業や事業承継及び経営力強化支援を積極的に進めます。